



間もなく終戦記念日

中国では

抗日戦勝利70周年記念行事予定

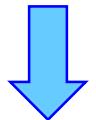
- 9月3日前前 共産党中央委員会、全国人民代表大会常務委員会等の名義で北京・天安門広場で中国人民抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利70周年記念大会を開催。習近平共産党総書記が出席し、重要演説を行う。
- 同日 レセプションと文芸の夕べを開催。
健在の抗日戦争元兵士、元同志、將軍またはその遺族に中国人民抗日戦争勝利70周年記念バッジを授与。
習近平総書記が自ら記念バッジを手渡す。
- 9月3日前後 香港・マカオ・台湾同胞、海外関係者の抗日戦争勝利記念座談会を開催。
抗日・世界反ファシズム戦争のいくつかの重大な問題について国際学術シンポジウムを行う。
- 9月18日 共産党遼寧省委員会と省政府が瀋陽市九一八（柳条湖事件）歴史博物館で「九一八を忘れない」と題して、鐘をつき、サイレンを鳴らす式を行う。
- 10月25日前後 台湾光復70周年記念大会と学術シンポジウムを行う。
- 12月13日 共産党中央委員会、國務院の名義で、南京市中国侵略日本軍南京大虐殺犠牲同胞記念館で犠牲者の国家追悼式を行う。
- 各地で、健在の抗日戦争元兵士、元同志、抗日將軍または遺族を見舞う活動を行う。
國務院が第二次国家レベル抗日戦争遺跡・記念施設を発表。
 - 民政省が第二次著名抗日英雄烈士「・英雄集団名簿を発表。
 - 戦争勝利70周年を記念し、思想・芸術レベルの舞台や映画、テレビ、文芸作品や出版物を創作する。
 - 中国人民銀行が勝利記念70周年記念硬貨セットを発行。
国家郵政局が記念切手セットを発行する。
 - 各地の抗日戦の歴史と結び付けた教育活動を実施する。

中国における終戦 = 1945年9月3日
現在は「抗日戦争勝利の日」としている

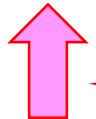


- 1911年 孫文による辛亥革命。
- 1912年 中華民国成立。清朝滅亡。
- 1932年 西安事件により第二次国共合作。
- 1945年 終戦。中華民国が連合国の一国として香港など一部を除き中国大陸を完全統治。
- 1949年 毛沢東の中国人民軍が国民軍を破り中華人民共和国樹立。

十大元帥と呼ばれる軍閥代表者が活躍。朱徳・彭徳懷・林彪・劉伯承・賀竜・陳毅・羅榮桓・徐向前・聶榮臻・葉劍英で、老総(ラオゾン)とも呼ばれた。



日本に勝利したのは国民党政府



歴史の捻じ曲げ

現政権=日本に勝利したのは共産党と主張

日中関係の語録



1964年7月、日本社会党の佐々木更三率いる訪中団が毛沢東と会見した際
「何も謝ることはない。日本軍国主義は中国に大きな利益をもたらしてくれた。
これのおかげで中国人民は権力を奪取できた。日本軍なしでは不可能だった。」

1978年、鄧小平訪日の際の談話。

「日中二千年の歴史に比べれば両国間の不幸な時期など瞼の一瞬き
(ひとまばたき) にすぎない」



1998年11月、江沢民は中国の国家元首として初めて日本を訪れた。その時の発言
「日本政府による歴史教育が不十分だから、（国民の）不幸な歴史
に対する知識が極めて乏しい」
これに続く執拗な謝罪要求などにより日中関係が悪化した。



1953年6月1日生まれ62歳
1974年共産入党
廈門副市长、福建省長、上海市党委書記を歴任後、
2007年10月の第17期党中央委員会第1回全体会議において、「二階級特進」を果たし、中央政治局常務委員に昇格。
2012年より第5代中国共産党中央委員会総書記に選出された、
中華人民共和国の最高指導者。
太子党のひとりで、父は習仲勲（元国務院副総理）。

太子党

中国共産党の高級幹部の子弟等で
特權的地位にいる者たちのこと。

地位安定

一族の団結

伝統的な大家族主義

世襲的に受け継いだ特權
と人脈を基に、政財界に大
きな影響力を持つ。

八大元老といわれる人たちの一部も構成員



敵
対
派
閥
ではない
とい
う

共青団

党幹部に類縁しない
若手エリート団員を
擁する青年組織。
胡錦濤、李克強を輩出。

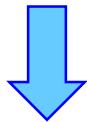
鄧小平	党中央軍事委員会主席
陳雲党	中央顧問委員会主任
彭真	全国人民代表大会常務委員長
楊尚昆	中華人民共和国主席
薄一波	党中央顧問委員会副主任
[李先念	王震 鄧穎超]
宋任窮	中央顧問委員会副主任
万里	全国人民代表大会常務委員長
習仲勲	元国務院副総理

習近平という人物②語録から見た思想

政治姿勢=リベラルといわれている

語録1

「一般大衆は歴史を作る原動力だ。腹を割って話さなければ、大衆は理解できない」



政治腐敗にも厳しく臨んでいる
共産党幹部談



語録3

「われわれは偉大な民族だ。5千年にわたる文明発展の歴史の中で、中華民族は人類の文明の進歩に不滅の貢献をしてきた」

語録4（軍に対して）

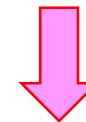
「断固として国家主権、安全、発展の利益を守らなければならない」

霸権主義の姿勢

語録2

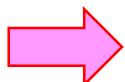
「腹いっぱいやることのない外国人（これは米国人を指す）が、中国の欠点をあげつらっている」

強い愛国心を主張



中華思想

中国が宇宙の中心であり、その文化・思想が神聖なものであると自負する考え方。



漢民族とは異なる周辺の辺境の異民族を文化程度の低い禽獸であるとして卑しむ。

内政での強権的姿勢

ウイグル族等少数民族への抑圧政策

インターネットやメディアへの情報統制



海外への強権姿勢

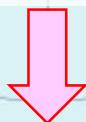
国防費増大

南沙諸島等海洋進出

一帯一路＝海と陸のシルクロード経済圏構想

アジアインフラ投資銀行設立

「米中両国による『新型大国関係』」



「中国の夢」 実現

習近平指導下の中国での 会社経営

「中国経済と日本企業2015年白書」建議の訴求点=「公平性の確保」

【具体的な内容】

1. 近代的市場体験の完備

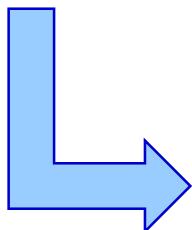
秩序ある競争の行われる市場体系の建設のため、公平競争の障害となっている各種制度の撤廃・見直し、知的財産権制度の一層の改革を要望する。

2. 政府の機能転換

法治政府・サービス型政府建設のため、行政手続の簡素化・迅速化、許認可・認証の大幅な廃止を要望する。

3. 開放型経済新体制の構築

経済のグローバル化に適応するため、製造・サービス業分野での外資参入制限の一層の開放、グローバルスタンダードのさらなる採用を要望する。



【総合概要】

- 「改革の全面的深化」に期待
- 近代的な市場体系の完備
- 政府の機能転換
- 開放型経済新体制の構築

【中国経済における日本】

- 輸出額 1,494億ドル（第2位）
- 輸入額 1,630億ドル（第2位）
- 進出企業数 23,094社
(外資企業の8%)

投資環境の整備に期待

【2014年中国の貿易】

- 貿易総額 4兆3,030億ドル(前年比3.4%増)
- 輸出 2兆3,427億ドル(前年比6.1%増)
- 輸入 1兆9,603億ドル(前年比0.4%増)
- 貿易収支 3,824億ドル

貿易・通関の問題点

◇法制度・運用の不透明性◇

- 通関拠点ごとで税関審査や法制度の解釈に違いがある。
→トレーニング強化、マニュアル整備を要望。
- HS番号の事前教示制度について
→企業が活用しやすいような制度整備と詳細な解説資料の公開を要望。
- 制度変更の際
→準備期間確保と情報開示
- 通関許可とCIQによる許可の連動
→制度運用の透明性と省庁間の情報共有の向上を要望。

◆通関手続きの複雑(煩雑)性◆

- 輸入手続きが煩雑で時間がかかる。
→申請窓口の一本化、優良企業の優遇、通關、商品検査の簡略化、リードタイムの短縮を要望。
- ペーパーレス化を歓迎。
- 分公司名義での通關手續類作成などの手続きの簡略化を要望

日中韓のFTA、東アジア地域包括的経済連携協定の締結に期待。
情報技術協定の拡大交渉に主導的役を利を果たすことを期待。

税務上の問題点

- 制度運用上の問題点
全国の税務当局が共通した統一性のある運用。
ルール制定には納税者の対応に十分な配慮を希望。
連結納税制度の導入を期待。
- 流通税（増価税・営業税）
2013年からの改革案を評価。
増価税改革の運用面での統一化を要望。
増価税還付の改善を要望。
- 所得税（個人所得・企業所得税）
社会保険の非課税化を要望。
企業所得税では、企業の個別事情に配慮し全国で統一した移転価格税制の運用を期待。
- 恒久施設（PE）課税
PE課税と認定の全国化を希望。

会計上の問題点

新準則とIFRSとの関係

- ・中国がどのような方針でIFRSに対応するか
- ・会計基準の動向が、日系企業にどのような影響があるか。

【新準則と旧準則の相違点】

- ① 連結財務諸表の作成が強制される。
- ② 税効果会計が任意から強制になる。
- ③ 金融商品会計の考え方方が採用されている。
- ④ 減損会計について明確に定められている。
- ⑤ 財務諸表及び中期の記載内容が増加。実務担当者の負担が増える。



- IFRSへの移行措置を全国一律対応を要望。
- 連結財務諸表作成対象会社を上場会社等に限定するなどの見直しを要望。

加工貿易

原材料を海外より輸入し、それを加工して製品にした後、再び海外へ輸出する貿易形態。

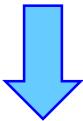
進料加工

中国内登記企業が、原材料や部品等を有償輸入し、代金を外貨で対外支払いする。
加工後の製品を国外に輸出し、輸出代金を受領する。
外資系企業が行う大半は進料加工。

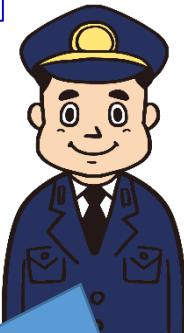
来料加工

中国内登記企業が、原材料や部品等を無償輸入し、加工生産後の製品を、すべて加工契約相手先へ輸出するという加工貿易形式。
部品・原材料の無償供給者と製品の輸出相手先は、海外に所在する同一企業。

税関に登録した期限内に加工品を輸出すれば、関税・増增值税は免税



勝手に免税原料、または免税原料を使って製造した製品を移動してはいけない。
また、国内購入貨物と免税輸入貨物も分けて管理しなければならない。

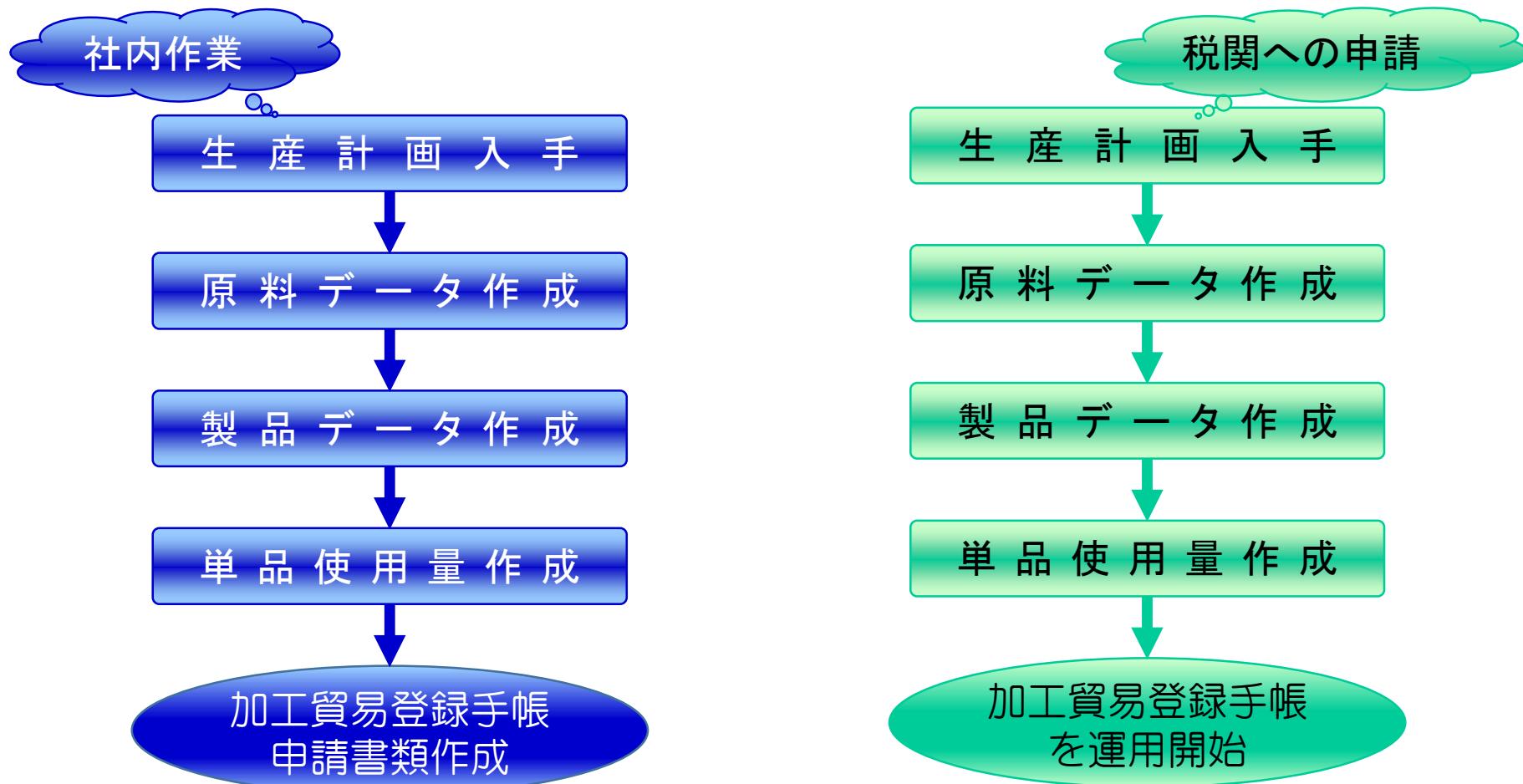


税関により厳しく監督

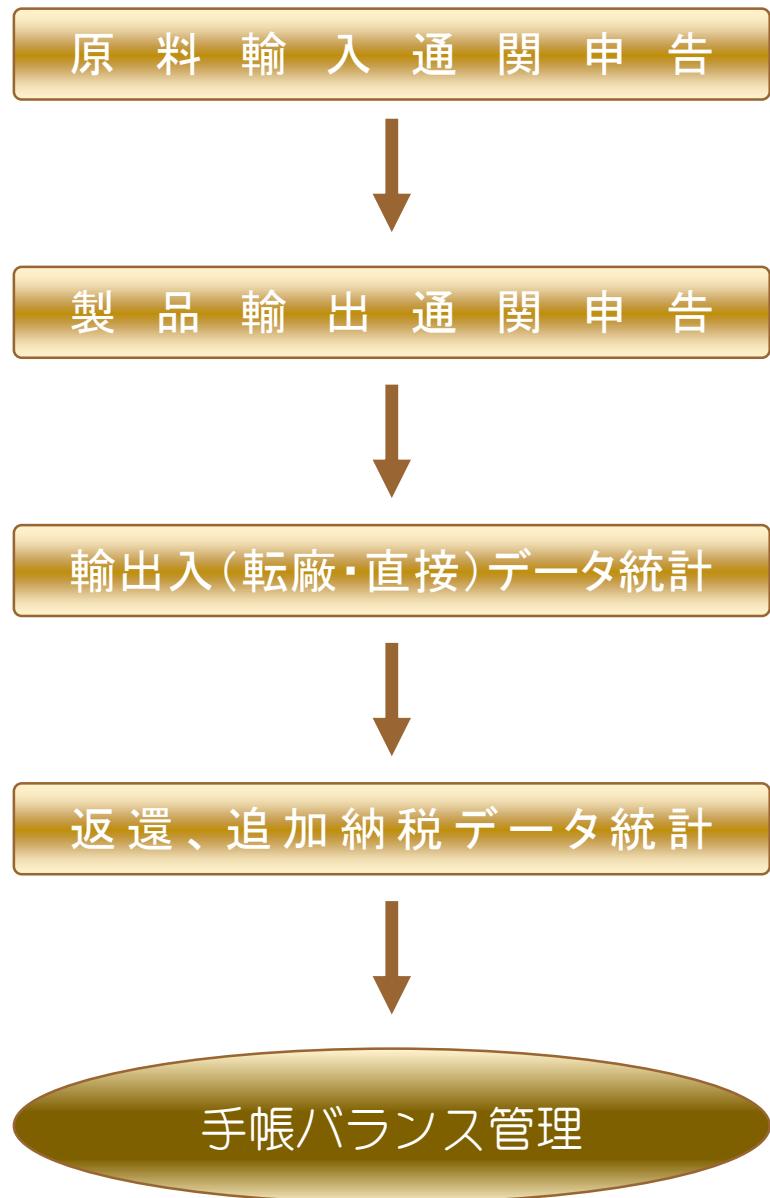
税関②加工貿易手帳の作成

加工貿易契約締結後1ヶ月以内に、加工企業は所轄税関へ加工契約内容を登録し、登記手冊を取得しなければならない。

この登記手冊に登録・記載された資材、部品、製品リストの範囲内で、免税にて輸出入することができる(自社事業限定の輸出入権)。申請から取得まで、概ね2週間程度が必要。



税関③加工貿易手帳の運用について



クロージング(照合抹消手続き)

輸出入データ統計

輸出製品を原料に換算

輸入数、使用数、帳面数まとめ

不良品、切端数のまとめ

手帳余剰材料の処理

手帳輸入不足の処理

手帳クロージング

1. 加工貿易企業に対する管理強化方針

登録管理、保税貨物輸出入管理、生産加工管理、保税貨物の使用、倉庫保管管理

2. 加工貿易企業に対する税関調査で指摘が多い事項

①保税原材料の在庫不足

②工場外（税関で登録を行っていない場所）での保税貨物保管

③保税部材の手帳中文名称管理の混乱

④規定に違反する転廠

⑤輸出入時重量、規格、価格、原産国等の申告不実

税関ランク

旧分類と新分類の関係は以下の通り。

(旧) AA類 (新) 高級認証企業

(旧) A類 (新) 一般認証企業

(旧) B類 (新) 一般信用企業

(旧) C、D類 (新) 信用喪失企業

通関価格の修正

輸入申告価格は、原則として取引価額（CIF価格）に基づく事となっているが、取引価格が不適切と判断される場合、税関が関税評価価額の修正を指示する事がある。

税関が取引価格を不適切と判断する場合、以下の順序で関税価格を査定・確定する事を規定している。

- ・同一価格の取引価格
- ・類似商品の取引価格
- ・逆控除価格
- ・計算価格
- ・その他の合理的な方法

加工貿易貨物の保管場所・下請け工場起用

①加工貿易貨物の保管場所

加工貿易企業は、「保税品と非保税品を区分管理する事」、「保税品の保管場所は税関に登録するものとし、保管場所を変更する場合、税関の許可を取得する事」が義務付けられている。

②外注加工制度

加工貿易企業が、生産能力の不足等を理由に工程の一部を他企業に外注する取引を指す。

加工貿易貨物監督管理弁法の改訂

①手続きの変更

加工貿易企業は、「保税品と非保税品を区分管理する事」、「保税品の保管場所は税関に登録するものとし、保管場所を変更する場合、税関の許可を取得する事」が義務付けられている。

②保証金の積立

加工貿易企業が、生産能力の不足等を理由に工程の一部を他企業に外注する取引を指す。

加工貿易貨物監督管理弁法の改訂

①手続きの変更

加工貿易登録（変更）、外注加工、転廠、原材料繰越、クロージング、放棄について、税関の許可手続きを不要とした。

②保証金の積立

加工貿易企業が一定の要件に該当する場合、税額に相当する保証金の積立が要求される。

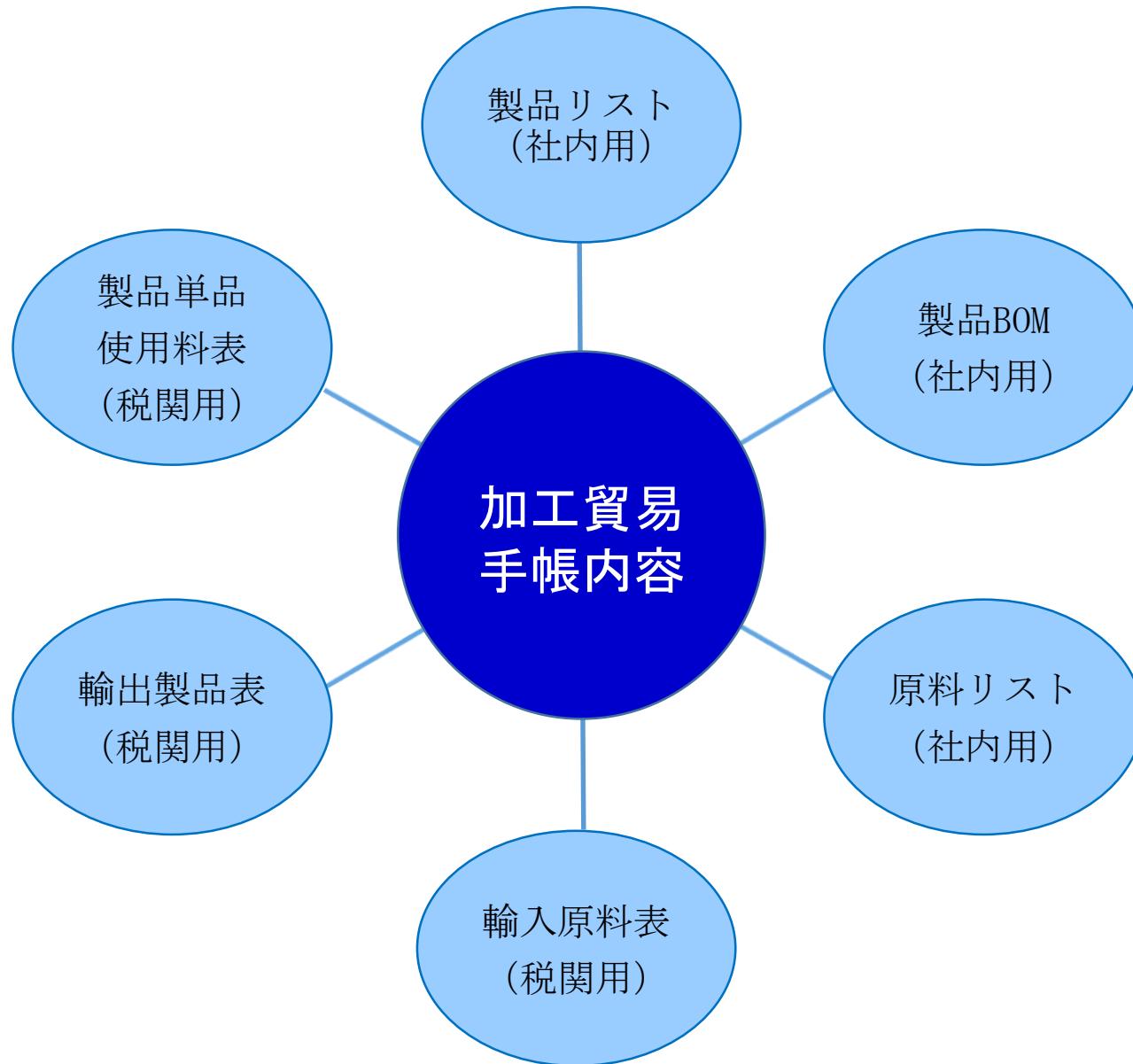
- ・密輸の疑いにより税関の調査を受けており、まだ解決していない場合
- ・企業に管理上の問題を税関に指摘され、是正期間中に有る場合。

保税・免税措置を受けた設備

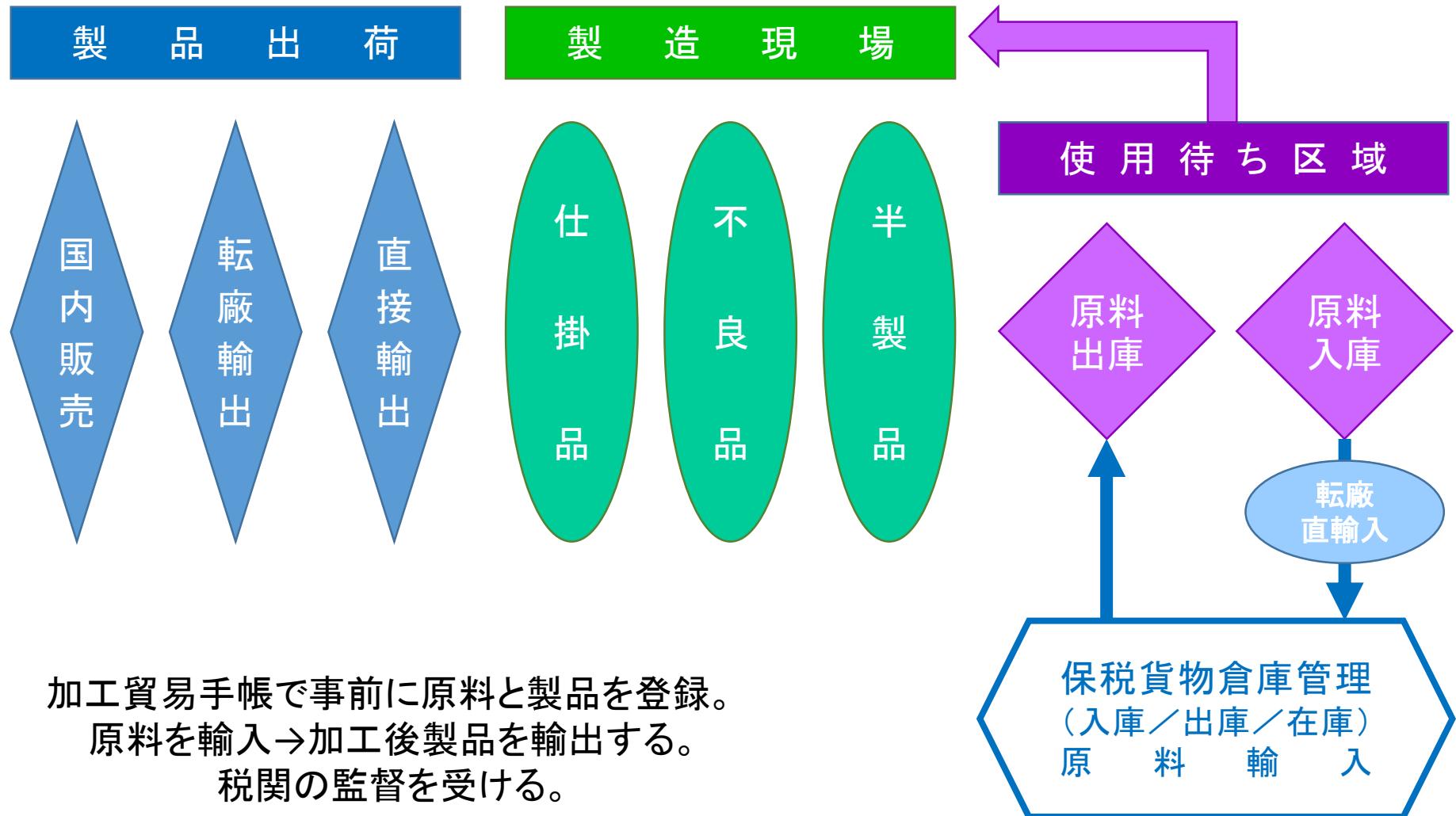
①監督解除時期

②監督解除の手続き

③売却代金の送金

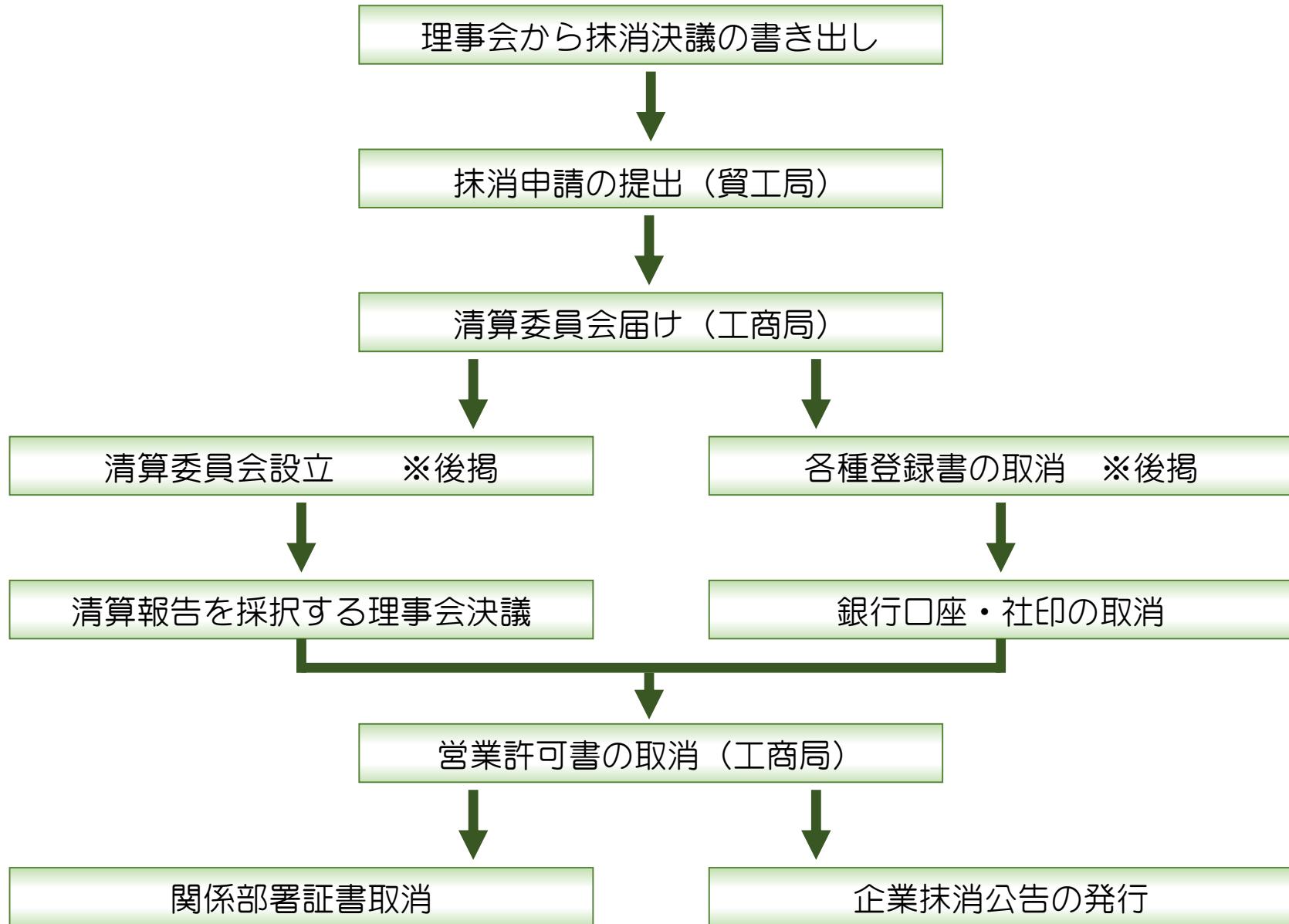


加工貿易手帳の企業内部データ管理

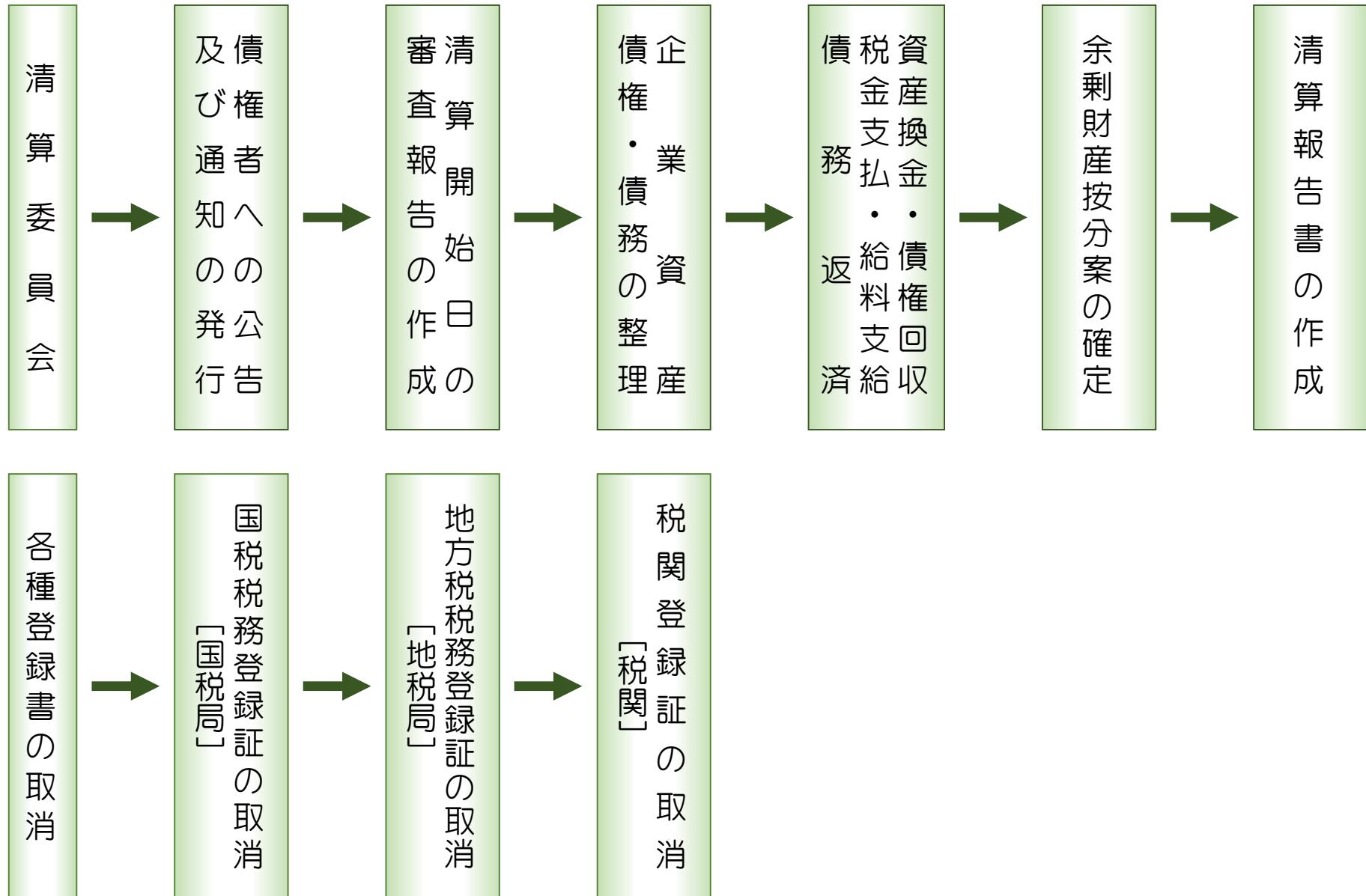


清算・整理

清算・整理①流れ



清算委員会と各種登録書取り消し



これからの中団の 問題点

ご清聴
ありがとうございました。